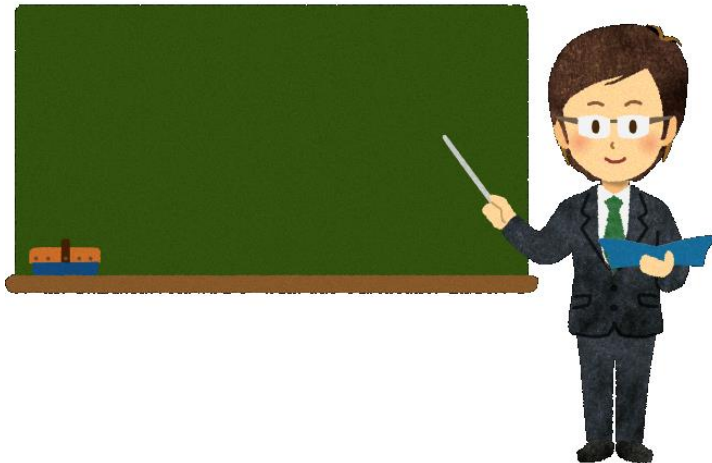




授業について考えるランチセミナー

<テーマ：オンライン環境でのアクティブラーニング 1日目>



コーディネーター

徳島大学 高等教育研究センター

吉田 博

コーディネーター自己紹介

吉田 博（徳島大学 高等教育研究センター）

2006.3 愛媛大学大学院理工学研究科修了

2006.4-2009.3 塾講師

2009.4- 現職



➤仕事

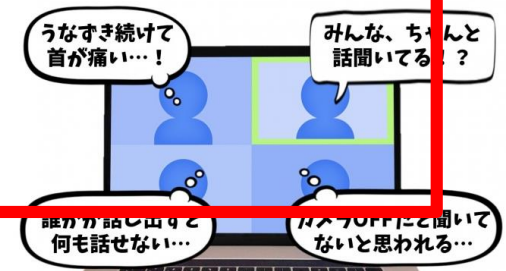
- 徳島大学 全学FD推進プログラムの企画・運営・講師
- 教養教育科目「大学教育と学び方入門」など3科目を担当
- ピア・サポートを行うサークル(3サークル)の指導教員
- SPOD-FD担当者・研修講師
- 日本高等教育開発協会(JAED)におけるFD等の開発・研究
- 分野別FD(理工系分野)のFD開発・研究
- シリーズ大学の教授法 4『学習評価』(分担執筆)など



テーマ⑦ <オンライン環境でのアクティブラーニング>

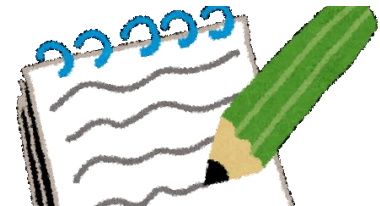
◆11月11日 (12:05-12:50)

1. アクティブラーニング (AL) の基本
2. ALが**必要な理由・必要ない授業**とは？ (議論)
3. オンライン環境での**AL事例・コツ**
4. 質疑応答



◆11月18日 (12:05-12:50)

1. 前回の振り返り (ALが必要な理由)
2. 学生の頭をアクティブに (内的活動をアクティブに)
3. 即興授業デザイン (オンライン授業でのAL)
4. 質疑応答



セミナーの目標

1. **アクティブラーニングが必要な理由**を説明することができる (11月11日)
2. アクティブラーニングを導入することに**適している授業**と**適していない授業の特徴**を説明することができる (11月11日)
3. **自身のオンライン授業**において導入できる**アクティブラーニングの手法**を1つ以上見つけることができる (11月18日)

コメントスクリーン

- ◆スマートフォンなどから、設定されたweb上のサイトにアクセスし、**匿名でコメントや絵文字を投稿**できる
- ◆投稿されたコメントや絵文字が**画面上に表示**される

これはすごいですね～(^o^)

気軽に参加できるのはいいですね

1.背景・問題意識

私はオンラインのカンファレンスに参加しました
2020年度の徳島大学のFD

オンラインでワークできない

◆新型コロナウイルス感染症の

ここにコメントが流れる
ように表示される

匿名でコメントや
絵文字の投稿ができる



コメントスクリーン

- ◆スマートフォンなどから、設定されたweb上のサイトにアクセスし、**匿名でコメントや絵文字を投稿**できる
- ◆投稿されたコメントや絵文字が**画面上に表示**される

これはすごいですね～(^o^)
気軽に参加できるのはいいですね
参加者の反応やコメントを見ながら、または対応しながらセミナー(授業)を進めることができる

◆新型コロナウイルス感染症の
1つのコミュニケーションツールである
ここにコメントが流れる
よりに表示される
実施し
Comments
投稿用の画面
Questions

本セミナーもコメントスクリーンを使用します。ぜひコメントを投稿しながらご参加ください!!

絵文字の投稿ができる



アクティブ・ラーニング

◆ 文部科学省（2012）中教審答申用語集

教員による**一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修**への参加を取り入れた教授・学修法の総称。

学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内での**グループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク**等も有効な**アクティブ・ラーニングの方法**である。

アクティブラーニング

◆ 溝上慎一 (2014)

一方向的な知識伝達型講義を聴くという(受動的)学習を乗り越える意味での、あらゆる能動的な学習のこと。

能動的な学習には、**書く・話す・発表する**などの活動への関与と、そこで生じる**認知プロセスの外化**を伴う。

徳島大学のアクティブ・ラーニング

教員による**一方向的な知識伝達とは異なり**,
課題演習, 質疑応答, 振り返り, グループワーク, ディスカッション, プレゼンテーション等を取り入れることにより,
学生自らが考え抜くことを教員が促し, 学生の能動的な学習を促進させる双方向の教授・学修のこと。

2014年5月21日大学教育委員会承認

定義からわかること

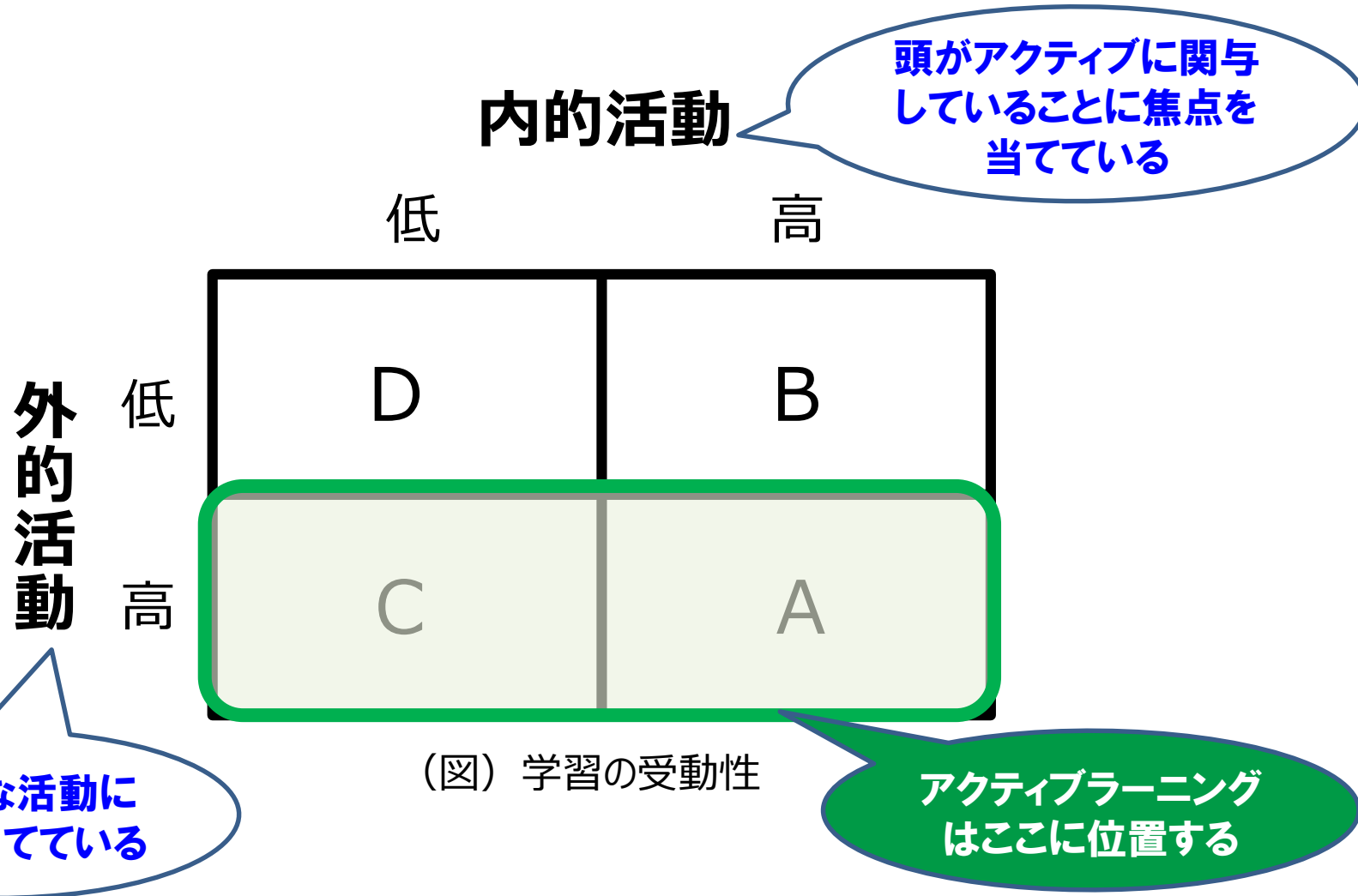
◆すべての定義に共通すること

- 一方的な知識伝達型の講義とは異なる
- 学習者が**能動的に学習する**
- さまざまな方法がある（演習、プレゼン、ディスカッション・・・）

◆特徴（わかること）

- 教授・学習の形態のことである
 - 内容や質を問うものではない（手段にすぎない）
- 全く新しいものではない
 - 演習、実験、実習、実技など、以前から行われてきた手法

能動的に学習するとは？



頭がアクティブであればいいのでは？

(内的な能動性が高い)

内的活動

低

高

外的活動
低
高

低	D	B
高	C	A

(図) 学習の受動性

松下佳代 (2015) 『ディープ・アクティブラーニング』、勁草書房、p.19より引用

- ✓ 学習への動機づけができています
- ✓ 学習する意味を理解しています
- ✓ 本質を理解しようとする
- ✓ 自分の学習に責任を持っている



これでいいじゃないですか!!
外的活動は必要ですか!?

外的活動も**必要**な理由？

◆本当に正しく理解しているのか？

- 「わかったつもり」になっていることもある
- 他者と共有したり、議論したり、使ってみてはじめて、**疑問や躊躇、失敗などの深い学習に不可欠な学習条件**が産出される

森朋子・溝上慎一（2017）『アクティブラーニング型授業としての反転授業』、ナカニシヤ出版

◆知識の理解だけでいいのか？

- **知識の活用、技能、倫理観**なども特に求められている
- 社会に出ていく上で「おとなしいけど学力は高い」でいいか

◆現代の「学習観」に合わせると・・・

- 学習するとは「**教員・学生・学生同士の相互作用で共同的に知識を構築する**」ことである

ところで、内的な能動性が「高い」学生はクラスでどれくらいいますか？



議論により思考が促されるという一例

今回のディスカッションのテーマである初年次教育の課題について、授業前は初年次教育を受けたという実感を学生側が持っていないという点にあると思っていた。しかし、授業内でグループディスカッションをして、他学部ではきちんと行われたという認識を学生側が持っていることを知り、学部によって中身に差があることが課題なのではないかと考えるようになった。さらに全体ディスカッションを通して、専門的な部分についても触れるから全学部共通で同じ初年次教育を行うことは難しいと思うようになった。このように、授業内で私の考えはだいぶ変わった。

…(中略)…物事を多面的に考えて色々な意見を持つことが重要だと思った。

徳島大学のDP

徳島大学の学士課程を卒業した者は、知と実践にわたる体系的な教育を通じて進取の気風と社会を生き抜く力を身につけ、志をもって学び、感じ、考え、熱意をもって未来を開拓していく人材である。

(1. 知識・教養)

文化、社会と自然に関する幅広い知識・教養を有し、それらの多様性を理解することができる

(2. 思考力)

様々な文化及び社会や自然の諸事象について複眼的かつ論理的に分析・思考することができる

(3. 判断力)

多様な情報を的確に把握し、自由な発想で主体的に判断できる

(4. コミュニケーション力)

他者の意見や表現を適切に受け止め、円滑なコミュニケーションを行うことができる

(5. 倫理観)

社会の一員として権利と義務を正しく理解し、倫理観を持って行動できる

(6. 社会的態度)

生涯にわたって学び続け、他者と協調・協働して社会の発展のために貢献できる

(7. 主体的課題解決力)

自立して社会の諸問題に立ち向かい、リーダーシップをもって課題解決にあたることができる

学習観の変遷

◆行動主義 (戦前～1960年ころ)

- 学習とは知識を獲得すること
- 教員は学生に知識を伝授し、学生はそれを身に着ける

◆認知主義 (1960年ころから)

- 新しい知識は、既存の知識との関連付けを行うことで身につく
- 教員は学生が知識を構成できるように導く

◆構成主義 (1990年ころから)

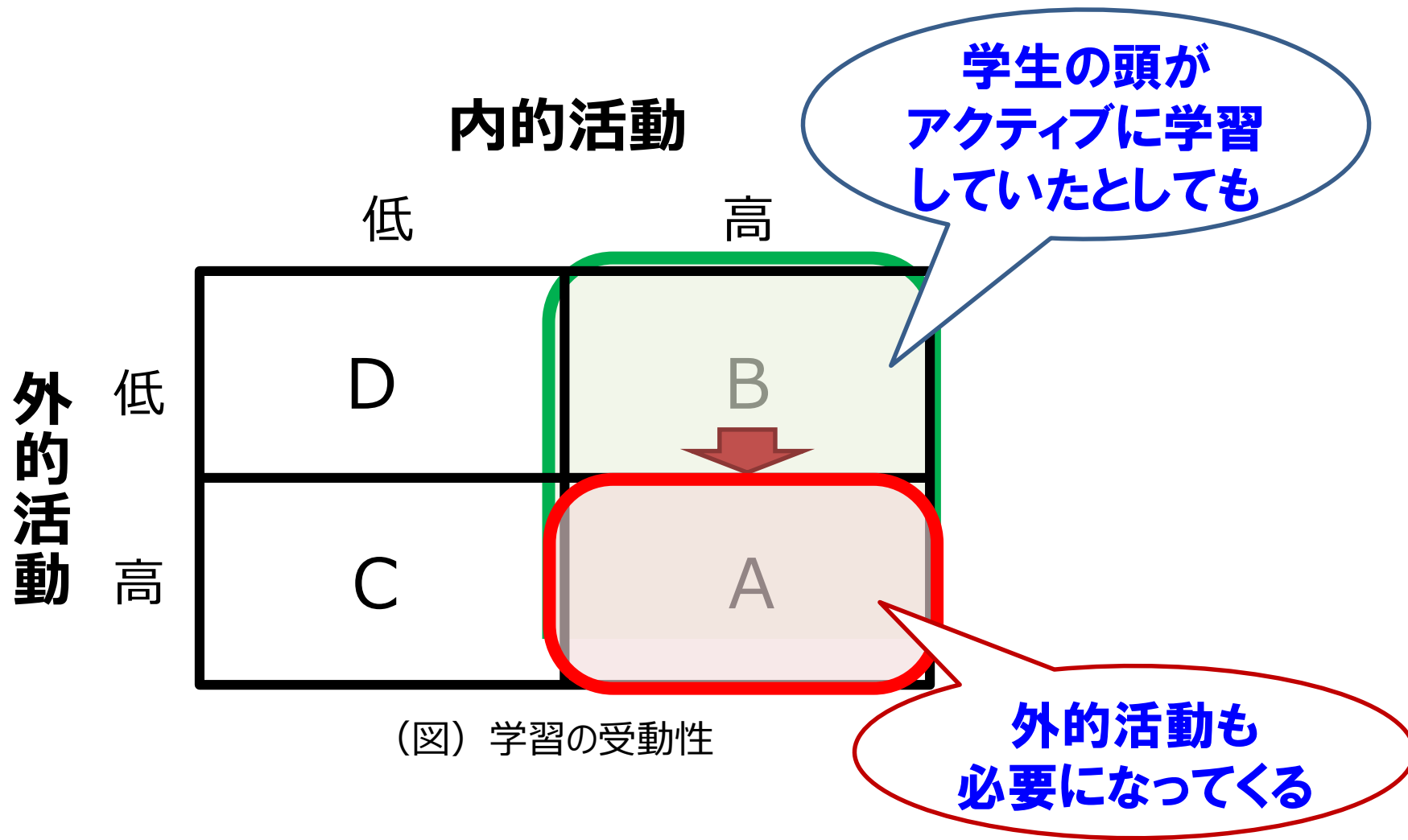
- 学習者が**周囲の学習者や教師、環境との相互作用で共同的に知識を構築**する
- **教員と学生は、コミュニティメンバーとしてお互い協力して学習**する

・城間祥子 (2012) 「学習環境のデザイン」教育創造 (171), 46-51.

・西口光一 (1999) 「状況的学習論と新しい日本語教育の実践」日本語教育 (100), 7-18.

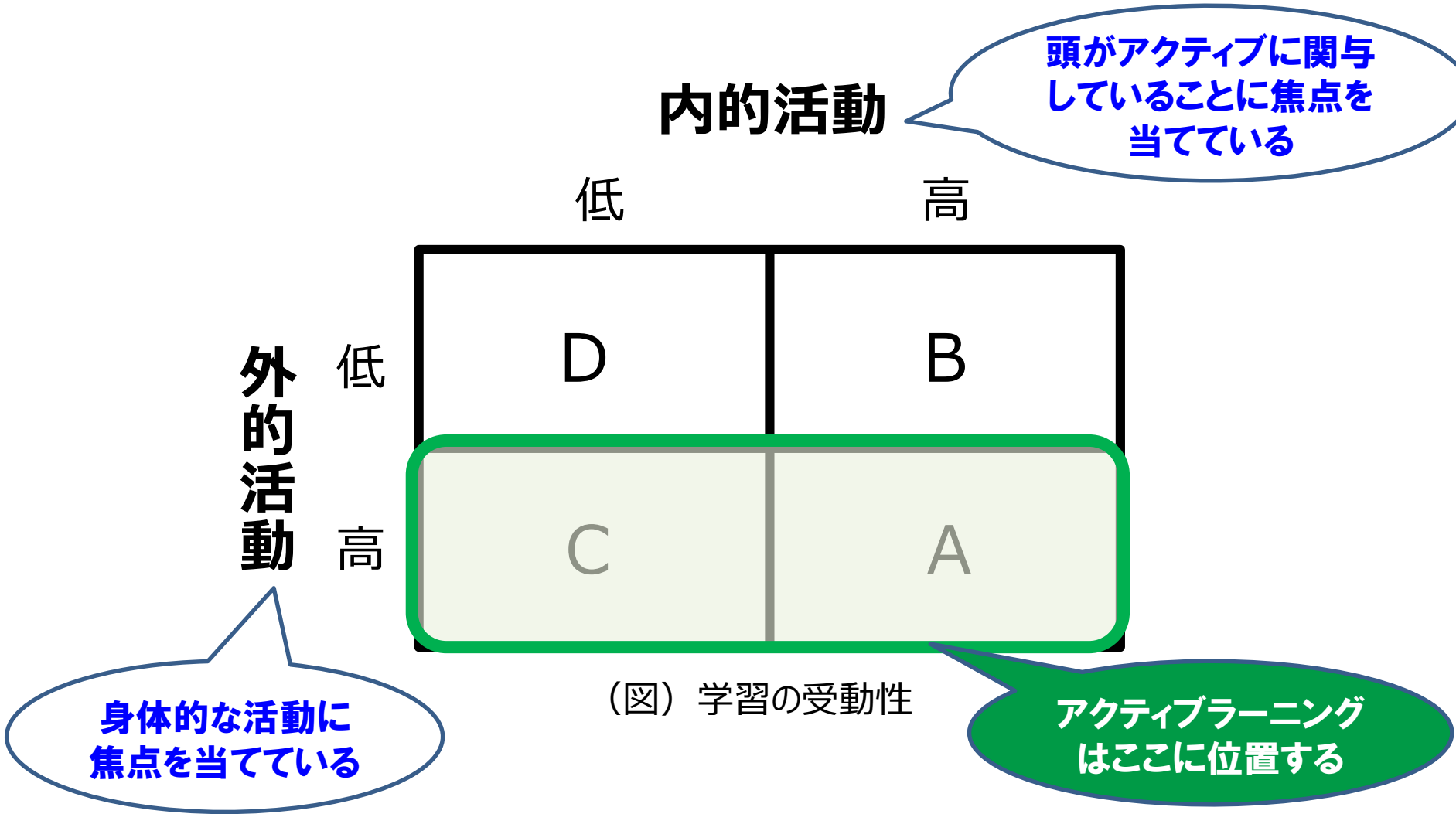
・「戦後の学習観の変遷」<https://nihongokyoiku-shiken.com/changes-in-views-of-learning/> (2021.9.29)

外的活動も取り入れよう!



(図) 学習の受動性

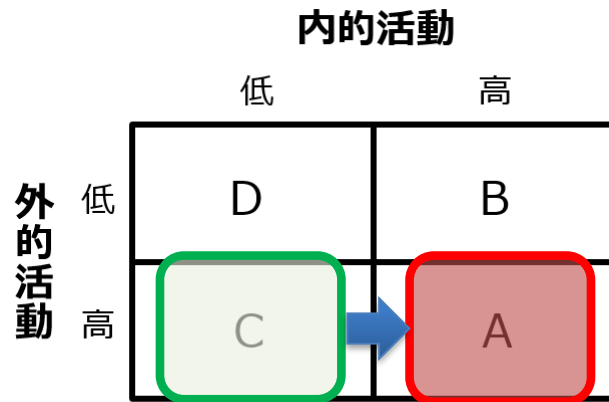
外的活動だけでよいのか？



(図) 学習の受動性

外的活動だけでよいのか？

(内的な能動性は低い)



(図) 学習の受動性

松下佳代 (2015) 『ディープ・アクティブラーニング』、勁草書房、p.19より引用


当然、
内的活動は高める必要がある。

「C」は、**受動的をただ乗り越えただけにしか過ぎない。**


溝上慎一「アクティブラーニング論から見たディープ・アクティブラーニング」
(松下佳代 (2015) 『ディープ・アクティブラーニング』p.31-51)

- ✓ いわゆる「活動あって学びなし」の状態
- ✓ 学生はやった気分になり、満足している
- ✓ 学生は与えられた課題の答えにのみ興味がある
- ✓ アクティブラーニングでは理解が深まらなと感じる


どんな時に内的な能動性が高くなるか？



学習の内的活動の高低は、
授業というより学生による差が
大きいと思います!!



やっぱり教員に
できることは
少ないのでは？



確かに学生によるところもありますが、
教員にできることもあります。
だからと言って**何もしないまま、**
学生に任せたままでいいのでしょうか？

内的な能動性を高めるために 教員ができること

1. 学習活動の意図をはっきり伝える
2. 指示・発問が具体的である
3. 学習内容とのつながりを与える
4. フィードバックを与える
5. 必要な知識を習得をさせておく
6. 課題は適度にチャレンジングなものであること
7. 学生は一緒に学ぶコミュニティとしての感覚を持っている
8. 学生がホリスティックに学べるように教えていること
9. 「内化→外化→内化」の設計ができていること

詳しくは来週解説します
具体例は後で紹介します



内的な能動性を高めるために 教員ができること

1. 学習活動の意図をはっきり伝える

**学生は、学習効果を感じた時に
「内的な能動性」が高まる。**

これらは学生の頭をアクティブにするための投資といえる。



7. 学生は一緒に学ぶ「コミュニティー」としての感覚を持っている

8. 学生がホリスティックに学べるように教えていること

9. 「内化→外化→内化」の設計ができていること

- ✓ 森朋子・溝上慎一（2017）『アクティブラーニング型授業としての反転授業』、ナカニシヤ出版
- ✓ 松下佳代（2015）『ディープ・アクティブラーニング』、勁草書房
- ✓ 教育について考える学生・教職員専門委員会における学生委員との議論より

目指すは 外的活動 + 内的に能動的な学習

(ディープ・アクティブラーニング)



(図) 学習の受動性

目指すは 外的活動＋内的に能動的な学習

(ディープ・アクティブラーニング)

そこで、まずは、
内的な能動性の高い学習
が伴っていないくても、
**アクティブラーニングの
導入から始めることを
お勧めします!!**

言うまでもなく、目指すところは、
学生の内的な能動性が高い学習です。



なぜアクティブラーニングか？

(外的な能動性を高めることに注目する)

◆学生に変化がある（ことも・・・）

- 授業や学習への内的な動機づけが生まれることもある
- はじめは受動的であっても、やがて理解が進むことで、内的な能動性が高められることもある

◆教員に変化がある（ことも・・・）

“ いったん講義一辺倒の授業を脱却しようとする、教員のなかにはもっと学習課題や演習問題、活動（議論や発表など）を入れて、学習をより能動的なもの、習得をもっと発展させた活用・探求的なもの、プロジェクト的なものにして出してくる。

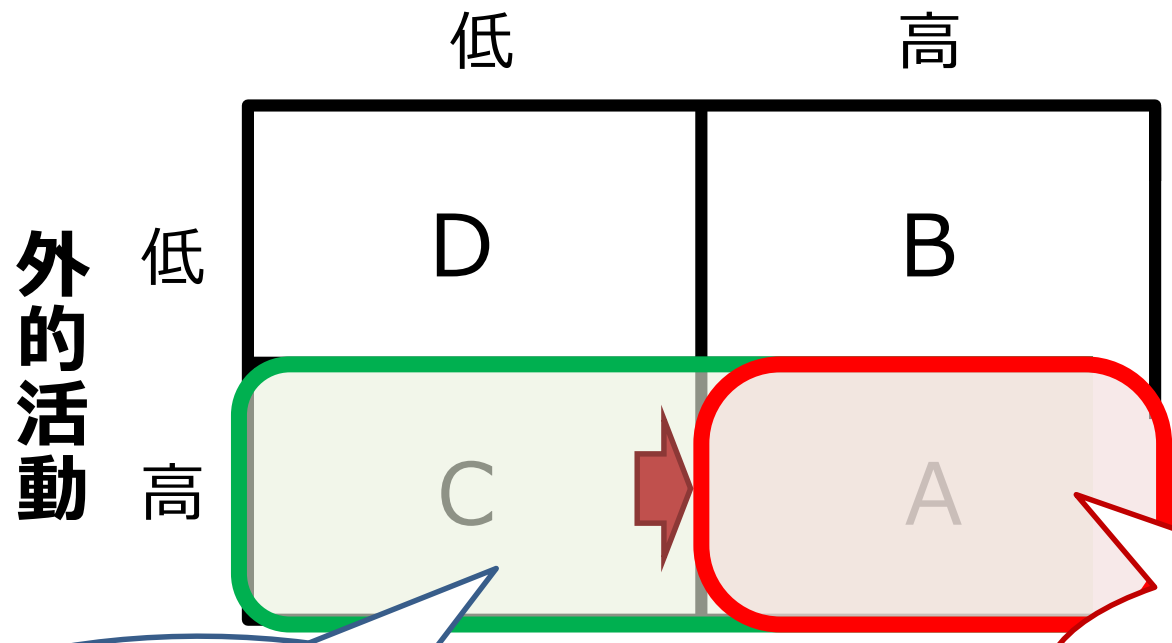
外的な活動から内的な学習の能動性 が高まった一例

- ◆ 最近この授業ではじめと違い少しずつ自分の意見を出すようになったと思う。この授業では対話というものをよくしているからだと思う。実際に自分にも効果が出ていると思うのでこの調子でもっといろいろな人の意見を聞き自分の視野やコミュニケーションを広げていきたいと思う。
- ◆ 自分の頭の中で考えていたことと実際にやってみると違うということは往々にしてあるものだ。私に関していえばこの授業がそうだった。「予習が面倒くさい」「授業がディスカッション」というお世辞にも興味を引くものではなかった。しかし今はすこし楽しんでいる自分がいることに気づいた。やはりとにかくやってみることは大事だ。

まずALの導入、

しかし学生の頭もアクティブにしていこう

内的活動



(図) 学習の受動性

ALを授業に導入
していたとしても

学生の頭を
アクティブにする
工夫も必要

もう一つの疑問!!



私の授業を受けている学生に、
「邪魔しないでくれ、俺は自分
は一人で学びたいんだ」という
学生がいるのだけど・・・

ここで、確認しておきたいことがあります!!

- ✓ その学生が「学びたいこと」は、授業の目的・目標と合致しているか？（授業の目的・目標を知っているのか？）
- ✓ 授業で取り入れているALの意図を学生は理解しているか？
- ✓ 授業で取り入れているALは、授業の「目的・目標」、「学生の能力」に合致しているか？

アクティブラーニングが 必要ない授業はあるのか？



「すべての授業でALを導入するのは無理だ」、「ALが必要な授業」もあるという話もよく耳にする。

実際、徳島大学の第3期中期計画・中期目標のKPIに、「AL導入率80%」が掲げられている。つまり、すべての授業にALの導入を求めているわけではない。



それは、どのような授業でしょうか!?

アクティブラーニングが不要ない授業とは!?

◆学生が授業内容を正しく理解している



演習課題が適切に与えられ、学生はそれに取り組んでいる、または、
形成的評価やフィードバックが適切に行われ、学生自身が自分の理解度
を把握し、学生の「わかったつもり」を解消することができる授業!!

◆「知識の理解」だけが授業の目標である



カリキュラム上でDP等の「知識理解」のみと紐づいている
「技能」、「態度」などの育成は必要とされていない授業!!

◆「行動主義」に基づく授業である



学生は、すでに体系化、理論化されている知識の習得（記憶）をすること、
または答えのある課題に対して反復学習を行い解けるようになることのみが
求められており、教員は知識を伝授することが求められている授業!!

※これらすべてに当てはまる授業は、ALは不要ないといえる!!

議論のまとめ

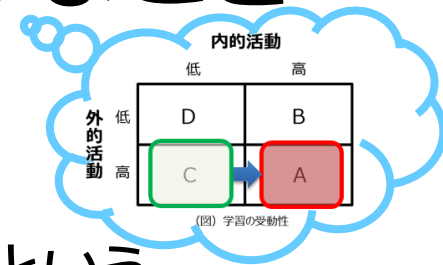
- ✓ アクティブラーニングの導入が**必要な授業と、
必要ない授業**がある（必要な理由・必要ない授業は述べた通り）
- ✓ アクティブラーニングの導入が必要な授業では、
 - ✓ 学生の学習に対する**内的な能動性**が高いたいで留まてはいけない
 - ✓ まずは授業に**外的な活動**を取り入れることから始めるが、学生の**内的な学習へ能動性**を高める工夫をする必要がある



アクティブラーニングを行う上で**大切なこと**

◆**試行錯誤する** (試しにやってみる)

- どんな学生、どんな授業でも成果が上がるという万能な方法は存在しない。**トライ&エラー**を繰り返す。



◆**多くの事例を知る** (FDや他の教員との情報共有)

- さまざまな**授業方法の特徴**や**メリット・デメリット等の情報**を知っておくこと。

◆**教育の知識やスキルを身につける** (FDなどで)

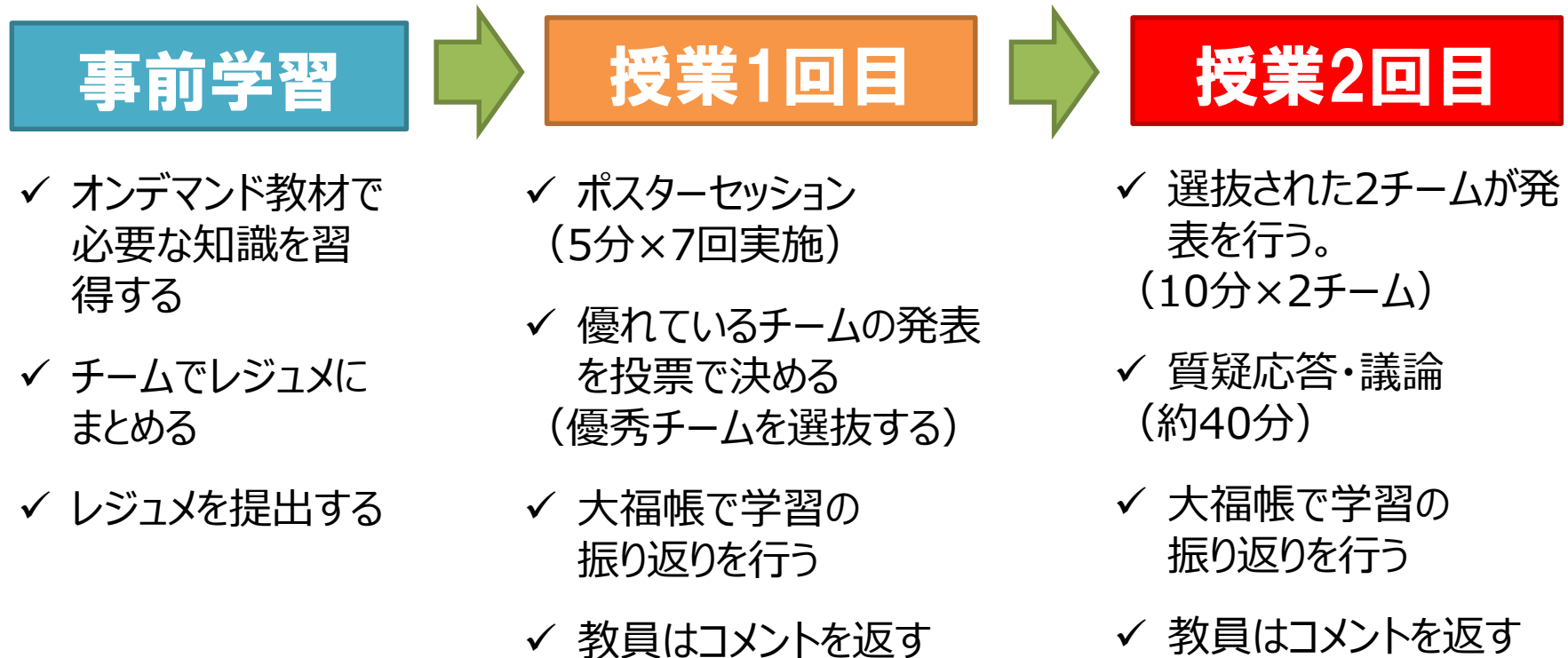
- インストラクショナルデザイン**の知識
- 学習**に関する**理論**、**新しい教育方法**や**ツール**

事例：「情報メディアと教育」

- ◆徳島大学 教養教育科目（2010年度より実施）
- ◆目的：インターネット上でのメディアを中心に、仕組みや特徴について理解し、特に学習との関わりの中で、現代メディアの位置づけについての理解する。
- ◆取り扱うテーマ：SNS、著作権、AI、オンライン授業など
- ◆授業形式：ハイブリッド（対面とオンラインの併用）
- ◆授業方法：学生4名程度でチームを作り、事前準備、プレゼン、ディスカッション、振り返りで構成されている。
- ◆受講者数：70~40名
- ◆担当教員：高等教育研究センター 金西計英先生

授業の流れ

- ◆ 学生4人一組のチーム（固定）で取り組む
- ◆ 1つのテーマあたりの流れ（全体で5テーマ）



1. オンデマンド教材で必要な知識を習得する

2021-0020404
情報メディアと教育

コース設定 担当教員: 金西 計英
2021 0020404

小テスト アンケート レポート プロジェクト 成績

掲示板 コースコンテンツ

視聴用コンテンツ

更新日時: 2021-10-29 14:29

事前学習用テーマの解説

公開期間: 2021-10-11 11:10:00 ~ 2022-02-11 11:10:00

「情報メディアと教育」の事前学習用のコンテンツです。

- テーマ1 フェイクニュースに何故だまされるのか？

•テーマ1 解説動画



- テーマ2 違法サイト問題はフィルタリングで解決するか？

•テーマ2 解説動画



コンテンツ管理

視聴用コンテンツ

事前学習用テーマの解説

+ ページ追加

1. オンデマンド教材で必要な知識を習得する

2. テーマについてレジュメ (A4一枚) にまとめる

2021-0020404
情報メディアと教育
コース設定 担当教員: 金西 計英
2021.0020404

小テスト アンケート レポート

視聴用コンテンツ

事前学習用テーマの解説

公開期間: 2021-10-11 11:10:00 ~ 2022-02-11 11:10:00

「情報メディアと教育」の事前学習用のコンテンツです。

■ テーマ1 フェイクニュースに何故だまされるのか?

● テーマ1 解説動画



■ テーマ2 違法サイト問題はフィルタリングで解決するか?

● テーマ2 解説動画



中島由衣
1日前 #テーマ2 内で - 違法サイト問題はフィルタリングで解決するか? .pdf



1



2

違法サイト問題はフィルタリングで解決するか?

～漫画をネット使って読んでいますか、それ合法ですか?～

【すいみー】*

●違法サイトのフィルタリングとブロック

(1)フィルタリングとブロックの違い

フィルタリングは、ユーザの同意を得たうえで、通信会社が一定のサイトやURLに対するアクセスを遮断することを指す。これは、「ユーザが選択可能」である点が大きな特徴と言える。

ブロックは、ユーザ側の同意を得ずに一定のサイトやURLに対するアクセスを強制的に遮断することを指す。

(2)違法サイト問題はフィルタリングで解決するか?

フィルタリングは、あくまでユーザの意思に基づくものであるため、違法サイト問題が解決するとは言えない。

(3)違法サイト問題はブロックで解決するか?

違法サイトのブロックを行うためには、著作権者が違法サイトのアドレスを指定し、そのサイトにアクセスできなくするよう通信会社を相手にとって裁判を起こす必要がある。裁判所が認めた場合、通信会社は、利用者が違法サイトにアクセスしたときに回線を遮断しなくてはならない。しかし、国内には約2万社の通信会社が存在しており、著作権者は本来すべてに対して裁判をする必要がある。また、違法サイトのブロックを法律で可能とするには、違法サイトのブロックの乱用による知る権利や言論の自由の侵害の可能性を否定できないというような問題もある。さらに、たとえ通信会社が違法サイトのブロッ

1. オンデマンド教材で必要な知識を習得する

2. テーマについてレジュメ (A4一枚) にまとめる

3. Slackに提出・共有する

2021-0020404
情報メディアと教育
コース設定 担当教員: 金西 計英
2021.0020404

小テスト アンケート レポート

視聴用コンテンツ

事前学習用テーマの解説

公開期間: 2021-10-11 11:10:00 ~ 2022-02-11 11:10:00

「情報メディアと教育」の事前学習用のコンテンツです。

■ テーマ1 フェイクニュースに何故だまされるのか?

● テーマ1 解説動画

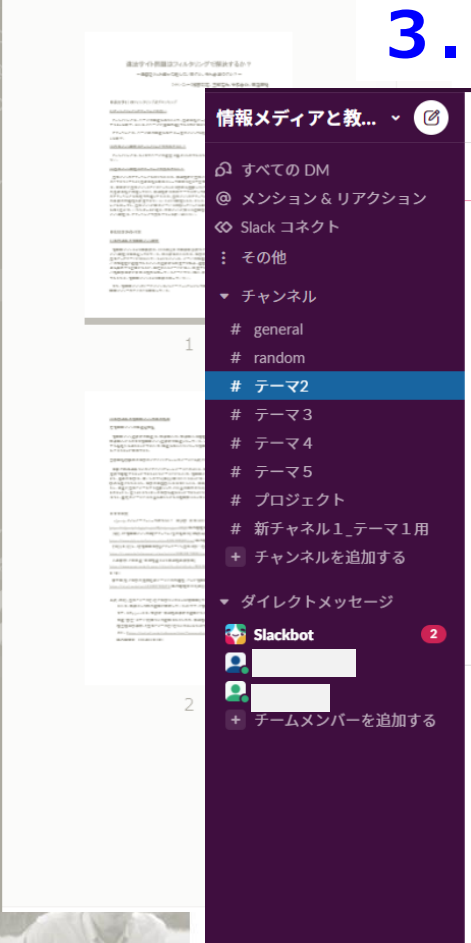


■ テーマ2 違法サイト問題はフィルタリングで解決するか?

● テーマ2 解説動画



中島由衣
1日前 #テーマ2 内で - 違法サイト問題はフィルタリングで解決するか? .pdf



情報メディアと教...
すべての DM
メンション & リアクション
Slack コネクト
その他

▼ チャンネル

- # general
- # random
- # テーマ2
- # テーマ3
- # テーマ4
- # テーマ5
- # プロジェクト
- # 新チャンネル1_テーマ1用

+ チャンネルを追加する

▼ ダイレクトメッセージ

Slackbot 2

+ チームメンバーを追加する

テーマ2 ~

! 22:04
9 いいです。

違法サイト問題はフィルタリングで解決するか? .pdf
130 kB PDF



すみっこです。
よろしくお願いいたします。

違法サイト問題はフィルタリングで解決するか? .docx
21 kB Word 文書



21:38
チームカラーバンです、よろしくお願いたします。

テーマ2.pdf
1 MB PDF



!1:48
チームソウゴウカガクです。よろしくお願いいたします。

違法サイト問題は、フィルタリングで解決するか? .docx
20 kB Word 文書



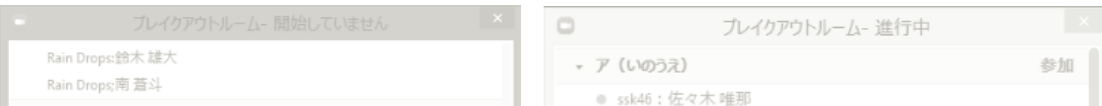
1. オンラインの場合（ブレイクアウトルームを活用）

The image shows a Zoom Breakout Rooms interface. On the left, a window titled 'ブレイクアウトルーム- 開始していません' (Breakout Room - Not Started) shows a list of rooms with names like '明日のタコ', 'キラキラになりたい!!!!', 'SSK46', and 'はなわたかこ'. On the right, a window titled 'ブレイクアウトルーム- 進行中' (Breakout Room - In Progress) shows a list of teams: 'ア (いのうえ)', 'It shy', '気分爽快一家', 'チーム西日本', 'A, SMAN', and '三密'. A 'ブロードキャスト' (Broadcast) button is visible, with a callout box explaining its use: 'ブロードキャストで教員が発表時間などを指示する。' (Use broadcast for teachers to indicate presentation times, etc.). Below the broadcast button are buttons for '全員にメッセージを放送' (Broadcast message to all) and 'すべてのセッションを停止' (Stop all sessions). At the bottom, a Zoom meeting window shows a slide titled '反転授業' (Flipped Classroom) with 'メリット' (Benefits) and 'デメリット' (Drawbacks) listed. A callout box points to the 'ブレイクアウトルーム' (Breakout Room) button in the Zoom interface, stating: 'チームのブレイクアウトルームを設定する。' (Set the breakout room for the team).

ブロードキャストで教員が発表時間などを指示する。

チームのブレイクアウトルームを設定する。

1. オンラインの場合（ブレイクアウトルームを活用）



2. 対面授業の場合



はなわたかこ: 榎原 皇来
はなわたかこ: 高麗 望海
はなわたかこ: 武市 有未
はなわたかこ: 濱 美風
はなわたかこ: 仲宗根 雅人

暫定
オプシ
再作成

チームのブレイクアウトルームを設定する。

情報メディアと教育
プレゼンテーションコメントシート

チーム名 _____ 氏名 _____

発表枠	発表チーム	発表を聞いて学んだこと、気づいたこと	発表の良かった点
1回目			
2回目			
3回目			
4回目			
5回目			
6回目			
7回目			

総合コメント

※自分が発表した時間枠は空白で構いません。それ以外の時間帯については空白にしないようにすべて記載してください。

コメントシートを学生に配付し、気づいた点などを記入させる。



1. オンラインの場合 (ブレイクアウトルームを活用) Formsを用いて投票を行う

2. 対面授業の場合

Forms どのチームの発表が良かったですか？ (1月26日) - 保存済み

プレビュー

テーマ

共有

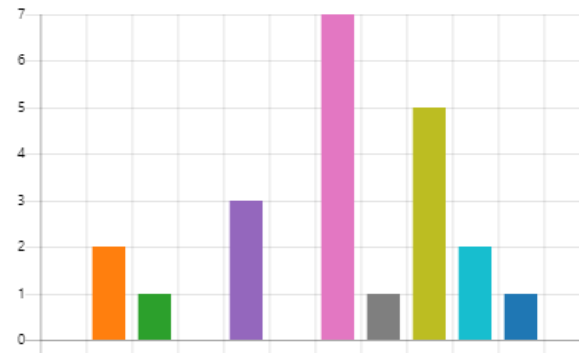
質問

応答 **22**

1. 発表が良かったチームを1つ選択してください。

[詳細](#)

● ア (いのうえ)	0
● It shy	2
● 気分爽快一家	1
● チーム西日本	0
● A, SMAN	3
● 三密	0
● Rain Drops	7
● 明日のタコ	1
● キラキラになりたい!!!!	5
● SSK46	2
● はなわたかこ	1
● 暫定	0



1. オンラインの場合 (ハイブリッド)



2. 対面授業の場合



1. オンラインの場合（ライブ） / 対面授業の場合 Formsを用いて投票 & コメントを行う

どちらのチームの内容（発表・質疑応答）
が良かったですか？（11月2日）

内容がよかったチームへの投票とメッセージをお書きください。

1. 内容が良かったチームを選択してください。（複数選択も可能です）

- すみっコチーム
- 自信過剰

2. すみっコチームのメンバーに対するメッセージをお書きください。

回答を入力してください

3. 自信過剰のメンバーに対するメッセージをお書きください。

回答を入力してください

送信



マイページ コース

2021-0020404
情報メディアと教育

小テスト アンケート レポート

レポート一覧

現在学生に公開されている画面です。受付中

タイトル
個別指導 大福帳 (1回目) 10/5

大福帳 第12回:情報メディアと教育 2020年度

提出者本人と教員のみ閲覧・コメント可のレポート

課題に関する説明

第12回の授業の大福帳です。

授業中に気になったこと、質問、コメント等があれば書いてください。書くことなければ、授業に関係なくてもOKです。自由に書いてください。

★先頭の1行目に、チーム名を書いてください。★

受付期間: 2021-01-12 08:00:00 ~ 2021-01-12 12:30:00 受付終了

[レポート受付窓口](#)

学生の記述欄

さんが提出したレポート (提出日時: 2021-01-12 10:17)

明日のタコ

今日の授業では阪大の村上先生のお話を聞いた。阪大の状況も聞いていると対面がいいのかオンラインがいいのかというのは大学の気質によって大きく異なるということが分かった。私はオンライン授業のメリットとしてやはり大きいのは家から受けられるということだ。私は、家から学校まで1時間くらいかかるので通学時間が無くなることによるメリットは大きい。しかし、オンライン授業が前期はほとんどで親しい友達もできないまま時間が過ぎることに焦りや不安を覚えることもしばしばであった。ただ対面であってもオンラインであっても授業の本質部分は変わることはない。2年生になってもオンラインは続くことが予想される。どのような状況になっても自分を見失わずに勉強に励めたらと思う。

329文字 2 words

教員の記述欄

1 大福帳 第12回

都市部は、居住費も高いですから。少し、遠くでも通学してる学生さんは、多いんですね。2時間ぐらいかけて通ってる学生も、結構、いるみたいですね。さすがに、徳島だと、2時間ってのは、余りないと思います。私も昔、関西にいたので、今日の村上先生の話聞いて、たしかこと思い出しました。東京だと、新幹線の定期券を使って、かよってる人もいますからね。当たり前ですが、オンライン授業の良いところ、悪いところをよく見極めて、4月からの授業を考えないといけないですね。

金西 計英 2021-01-12 13:12

重要なコメントや
共通する質問などは、
次の授業の冒頭で
クラス全体に向けて
フィードバックを行う。

重要なポイント

ここまで紹介したのは、外的な活動です。

重要な点は、

「内的な能動性を高めるための工夫」

にあります。



内的な能動性を高めるために 教員ができること

1. 学習活動の意図をはっきり伝える
2. 指示・発問が具体的である
3. 学習内容とのつながりを与える
4. フィードバックを与える
5. 必要な知識を習得をさせておく
6. 課題は適度にチャレンジングなものであること
7. 学生と一緒に学ぶコミュニティとしての感覚を持っている
8. 学生がホリスティックに学べるように教えていること
9. 「内化→外化→内化」の設計ができていること

今回の事例で
取り入れている工夫





1. 学習活動の意図をはっきり伝える

オンデマンド教材、事前課題に取り組む1つ前の授業の終了時に、テーマの意図、なぜこれを学習する必要があるのかを説明する。

ex.「著作権」がテーマの時に・・・

違法サイトのダウンロード数がコロナ禍に入り急増している。かつては、違法性を認識していたケースも多いが、子供が違法性を知らずにダウンロードしたり、もはや漫画や音楽はタダが当たり前だと思っているケースもあるようだ。漫画やアニメが売れなくなってしまうと、日本の文化の衰退にも与えかねない。著作権について正しい認識を持つておくことは、現代のインターネット社会においては重要であるため、今回このテーマを設定している。



2.指示・発問が具体的である

- ✓ 学生のプレゼンや議論の論点を明確にする
 - たとえば、「著作権」をテーマとしたとき、学生に与えたお題は、「違法サイト問題はフィルタリングで解決するか？」であり、と指示をする。「する」か「しない」かの立場を明確にして、その根拠資料を示してください。

- ✓ 課題の指示を明確にする
 - A4一枚に文章（図、表の使用は可能）でまとめて、Slackに授業開始時刻までに投稿しておくこと



3. 学習内容とのつながりを与える

- ✓ 学生にとって身近なテーマ（論点）を設定する
 - 「著作権」→「違法サイト問題」

- ✓ 授業の全体のテーマ、前後のつながりを考える
 - インターネット上の課題を取り上げる
 - テーマの配列など



4.フィードバックを与える

- ✓ 学生の「学習の振り返り」や「質問」に対して
教員がフィードバックをする
 - 大福帳で個別にコメントを返す
 - 大福帳で重要なコメントはクラス全体で共有する

- ✓ 学生同士のフィードバックも取り入れる
 - 学生の投票による選抜（ポスター、プレゼンともに）
 - プレゼンしたチームへのコメント（後日当該学生に返す）



5. 必要な知識を習得させておく

✓ 事前学習

- オンデマンド教材で知識習得を授業外で行う
- テーマに関して事前にテーマに関するまとめ（レジュメ A4一枚）を作成させ、提出させておく

✓ 知識の理解を促進する

- 同じテーマで、授業2回分を異なる方法で実施する
- 1回目:ポスター発表、2回目:プレゼン・議論



7. 学生は一緒に学ぶコミュニティとしての感覚を持っている

✓ グループ学習を取り入れている

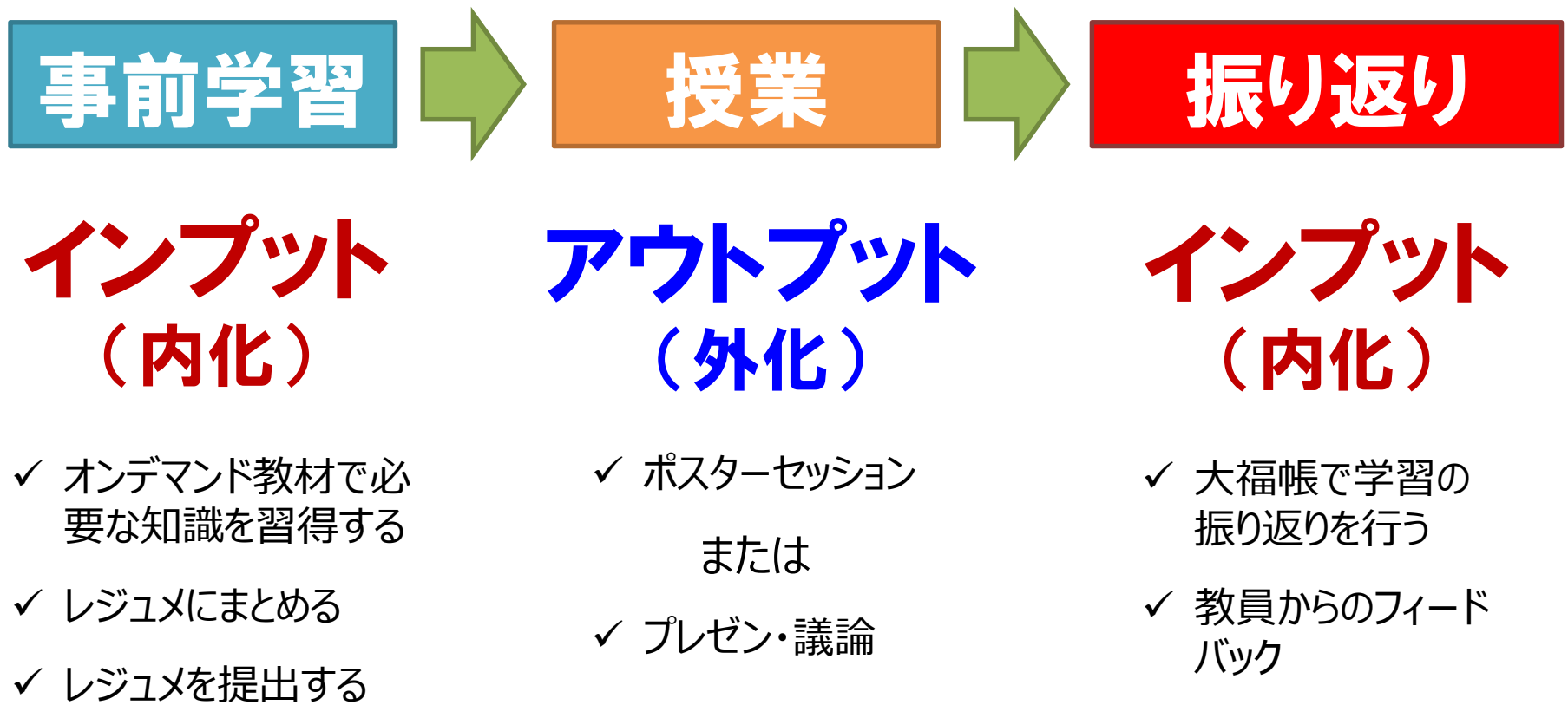
- チーム（4人一組）でほとんどの学習活動を行う
- 成績評価は「チーム得点」と「個人得点」の合計
- ポスター発表の際のコメントシート

✓ プロダクトの共有化

- Slackで授業のワークスペースを作成し、学生が作成したレジュメ、教員や学生同士のコメントを共有している



9.「内化」→「外化」→「内化」の設計ができています



テーマ⑦ <オンライン環境でのアクティブラーニング>

◆11月11日 (12:05-12:50)

1. アクティブラーニング (AL) の基本
2. ALが必要な理由・必要か？ 授業とは？ (議論)
3. オンライン環境でのAL
4. 質疑応答

ぜひ
ご参加ください

うなずき続けて
首が痛い…!

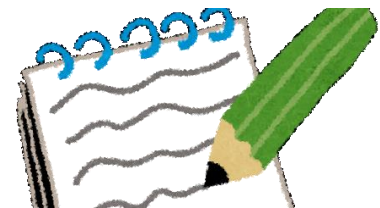
みんな、ちゃんと
話聞いている!?

誰かが話し出すと
何も話さない…

カメラOFFだと聞いて
ないと思われる…

◆11月18日 (12:05-12:50)

1. 前回の振り返り (ALが必要な理由)
2. 学生の頭をアクティブに (内的活動をアクティブに)
3. 即興授業デザイン (オンライン授業でのAL)
4. 質疑応答



次回（11月18日） 「即興アクティブラーニング授業設計」

与えられた条件に合うアクティブラーニングの方法を即興で設計します。

- ALの条件（1）「専門分野」
- ALの条件（2）「授業の主な内容」
- ALの条件（3）「クラスサイズ」
- ALの条件（4）「ALの意図」
- ALの条件（5）「評価の有無」
- ALの条件（6）「そのほか」

GoogleJamboardより**匿名で投稿**ができます。
みなさまからのお題投稿をお待ちしています!!

<https://jamboard.google.com/d/1ks6i4uibiwRWSUbQo9c7hRjKhGVepwz-7gdzSLlpSak/edit?usp=sharing>

徳島大学高等教育メーリングリスト "Edutoku"



FDセミナーのお知らせや**アーカイブ動画**、**配布資料**のほか、授業実践に**使えるツール**や**Tips**のお知らせなど、高等教育に関わる**お"toku"な情報**を配信

対象：徳島大学、SPOD加盟校の
教職員・大学院生・学生

配信：毎週金曜日



<https://www.tokushima-u.ac.jp/highedu/reform/fd/docs/26689.html>

授業での実践を募集しています!!

先生が**授業で取り組まれている実践を教えてください!!**
どんな些細なことでも構いません。

自薦・他薦は問いません。記名・匿名の選択もできます。

<例>

- ◆ 学生の学習を促進するために実践していること
- ◆ 学生との双方向性を高めるために実践していること
- ◆ 学生の深い思考につなげるために実践していること など

<投稿いただいた実践事例の活用>

FDセミナー、または教員からの授業相談（個別対応）などを通して、参加者・相談者の先生に紹介させていただくことがあります。

共有の可否については選択することができます。



**本日はご参加いただき
ありがとうございました**

ぜひ来週もご参加ください!!